

2022年度 法学部 一般選抜 問題訂正

日本史	10	問題Ⅱ [語群]	06. 金融ビッグバン	→	06. 金融ビッグバン
-----	----	-------------	-------------	---	-------------

## 問題 I

次の本文を読み、空欄 (1) (2) から (9) (10) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (キ) に関連した設問 1 から 8 について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の (11) (12) から (25) (26) にマークしなさい。なお、引用した史料の原文は適宜改めている。

近年、「クール・ジャパン」と称して、日本文化が海外に向けて発信され、フランスでも日本の漫画・アニメなどを中心とした評価が進んでいる。しかし日本の文物を受容する日本趣味の動きは、19世紀から20世紀初頭にも見られ、フランスでは「ジャポニスム」と呼ばれた。幕末、<sup>(ア)</sup>日本人がフランスに最初に渡ったのは1862年の文久遣欧使節である。この時随行した、大坂の適塾で蘭学を学び、1860年には万延遣米使節に加わり、アメリカにも赴いたこともある (1) (2) は、パリでフランス政府から派遣された通訳レオン・ド・ロニーと親交を結んだ。この人物の記した『西航記』の一節に「仏蘭西の人『ロニ』なる者あり。支那語を学び又よく日本語を言ふ。時に旅館に來り談話時を移す。(……)『ロニ』云、去年魯西亞の軍艦對馬に至り已に其全島を取りりと聞けり、信なりやと」とある。これはロシア軍艦による對馬占拠事件のことであるが、当時のイギリス公使であった (3) (4) の介入によって解決した。こうしたことは、海外で日本への関心が高まりつつあったことを示す一例である。

<sup>(イ)</sup>欧米と日本との交易は、安政の五カ国条約によってすでに始まっていたが、フランスで浮世絵、扇子、団扇、屏風などの日本の文物が受容され、それが流行するようになるには、1867年のパリ万国博覧会まで待たねばならなかった。日本の文物がもたらされるようになると、これらを積極的に作品のなかに取り入れたのが印象派であり、浮世絵はモネやゴッガン、ゴッホなどに大きな影響を与えた。また自然主義作家のエドモン・ド・ゴンクールは評論『歌麿』や『北斎』を書き、画家ロートレックはポスター作品に浮世絵の要素を取り入れるなどした。特に浮世絵を好んだゴッホは、<sup>(ウ)</sup>大川にかかる大橋で、激しい夕立に人々が慌てている様子を生き生きと描いた浮世絵や梅屋敷の梅を描いた浮世絵を油絵で模写した。一方、<sup>(エ)</sup>東京大学で哲学・政治学・経済学などを講じ、後の文化財保護行政につながる調査を行った御雇外国人の (5) (6) が、伝統美術も高く評価したことで、フランスでも浮世絵偏重の評価から、浮世絵以外の美術作品が少しずつ評価されるようになっていった。

こうした日本評価を受けて、1900年に開かれたパリ万国博覧会の際、明治政府は海外向けにフランス語による『日本美術史』を刊行し、日本美術の紹介に努めた。この本の特徴の1つは、大和絵に対しては軟弱なものとして低い評価しか与えなかった点にある。しかし、それでも大和絵のうち、<sup>(オ)</sup>藤原信頼が当時の武士勢力と結んで挙兵した合戦を描いた絵巻物や、<sup>(カ)</sup>平安京の朝堂院の正門の放火事件を題材にした絵巻物などは例外的に高い評価が与えられていた。

現在では評価の高い<sup>(キ)</sup>室町期の水墨画も当時のフランスでは、低い評価だった。浮世絵と異なり、画題に中国の風景が多く、また写実的な描写ではなかったためである。しかし水墨画が西洋の遠近法などと異なる基準で描かれていることが理解されると、評価は次第に変化していった。こうした変化に伴い、水墨画に大和絵の手法を取り入れ、江戸時代には幕府の御用絵師の家柄となった (7) (8) 派の始祖も、中国からの影響が見られるものの、「象徴的な詩情に満たされている」などと水墨画を大成した雪舟と並んで積極的に評価されるようになった。

1900年のパリ万国博覧会の頃には、絵画などの芸術作品だけでなく、日本の芝居も受容されるようになり、川上音二郎一座や花子一座のパリ公演が人気となった。<sup>(ク)</sup>彫刻家のロダンは花子をモデルにした作品を多数、作成している。

こうした19世紀から20世紀初頭にかけての日本ブームが21世紀のフランスに再来することになったが、その特徴は大衆文化の漫画をも芸術作品として高く評価していることである。この漫画の起源をフランス人は、証金剛院別当から天台座主になった (9) (10) が描いたとされる絵に求めている。この証金剛院は、白河上皇が移り住んだ平安京南郊の離宮内にあった。

〔設問 1〕

下線部（ア）に関して、この時期に起こった出来事を述べた〔01〕から〔05〕の記述のなかより、適切でないものを選び、その番号を解答欄 

(11)	(12)
------	------

 にマークしなさい。

〔01〕 会津藩・薩摩藩によって朝廷より追放された7名の公卿は、長州藩に向けて脱出した。

〔02〕 老中首座安藤信正は、幕府の公武合体政策に反発した水戸浪士らによって、江戸城坂下門外で暗殺された。

〔03〕 薩摩藩の島津久光一行が江戸からの帰途、薩摩藩士が横浜近郊の生麦でイギリス人3名を殺傷する事件を起こした。

〔04〕 長州藩は、下関の海峡を通過しようとしたアメリカ商船ペンブローック号を海岸の砲台及び帆走軍艦から砲撃し、損傷を加えた。

〔05〕 中山忠光を擁した吉村虎（寅）太郎らが兵を挙げ、大和国五条の代官所を襲撃した。

〔設問 2〕

下線部（イ）に関して、当時、ヨーロッパで微粒子病が蔓延したために日本からの輸出量が増えたものを語群のなかより選び、その番号を解答欄 

(13)	(14)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 3〕

下線部（ウ）で述べられている浮世絵が含まれている名所図を語群のなかより選び、その番号を解答欄 

(15)	(16)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 4〕

下線部（エ）に関して、

(5)	(6)
-----	-----

 は、斑鳩寺とも呼ばれる寺院の東院にある八角堂の秘仏を初めて調査し、高く評価したことで知られる。この八角堂の名称は、時の天皇の摂政を務めたといわれる人物の伝説に由来するが、この人物が行ったこととされているものを述べた〔01〕から〔05〕の記述のなかより、適切でないものを選び、その番号を解答欄 

(17)	(18)
------	------

 にマークしなさい。

〔01〕 この人物は、渡来僧の恵慈から仏教を学び、『法華経』『勝鬘経』『維摩経』の三経典を註釈した書を書いたと伝えられている。

〔02〕 この人物は、深く仏教に帰依し、斑鳩寺とも呼ばれる寺院を建立した際、金銅像の釈迦三尊像を鞍作鳥につくらせ、金堂の須弥壇中央に安置させた。

〔03〕 この人物は、蘇我馬子とともに『天皇記』『国記』などの史書を編纂したが、蘇我氏滅亡の際、一部を除いて焼失した。

〔04〕 この人物は、徳、仁、礼、信、義、智の位階を制定し、それぞれ冠の色で区別するようにした。

〔05〕 この人物は、穴穂部間人皇女の住んでいた宮跡に尼寺を創建した。現在、同寺にはこの人物が往生した天寿国の有様を描いた刺繍帳の断片が残されている。

〔設問 5〕

下線部（オ）の絵巻物の合戦を描いた軍記物の一節を [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄

(19)	(20)
------	------

 にマークしなさい。

[01] 二位殿仰せられけるは、「殿原、聞玉へ。(……) 尼は若<sup>わか</sup>より物をきぶく申者にて候ぞ。京方に付て鎌倉<sup>せめ</sup>を責ん共、鎌倉方に付て京方を責んとも、有<sup>あり</sup>のまゝに仰せられよ、殿原」とこそ、宣玉<sup>のたま</sup>ひけれ。

[02] 二位殿は、(……) 神璽をわきにはさみ、宝剣を腰にさし、主上をいだきたてまって、(……) ふなばたへあゆみ出でられけり。(……)「浪のしたにも都のさぶらふぞ」となぐさめたてまって、ちいろの底へぞ入給ふ。

[03] 義朝は、相<sup>あいしたがひ</sup>随し兵共、方々へおち行て小勢になりて、叡山西坂本を過て、小原の方へぞ落行ける。八瀬と云所を過んとする所に、西塔法師百四五十人、道をきりふさぎ、逆門<sup>さかもぎ</sup>木引て待かけたり。

[04] 義家・義綱等、虎のごとくに視、鷹のごとくに揚る。将を斬り旗を抜く。貞任等、遂に以て敗北す。官軍、勝に乗じて北<sup>にぐ</sup>るを追ふ。

[05] 軍は寅刻<sup>いくさ</sup>に始て、辰刻<sup>やぶれ</sup>に破にけり。義朝、清盛已下の兵、新院の御所焼払ふ。東山の方へぞ追懸<sup>おつかけまゐら</sup>進する。

〔設問 6〕

下線部（カ）に関して、当時、摂政であった人物が、この放火事件に対応するために行ったこととして適切なものを

[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(21)	(22)
------	------

 にマークしなさい。

[01] この放火事件を機に、橘広相の非を宇多天皇に認めさせた。

[02] 伴健岑、橘逸勢らを謀反を企てたとして流罪にした。

[03] 娘婿の齊世親王を即位させるための陰謀だとして、菅原道真を太宰権帥に左遷した。

[04] 源信の失脚を謀って事件を起こしたとして伴善男、紀豊城、紀夏井らを流罪にした。

[05] 左大臣の源高明が陰謀を企てたとして、太宰権帥に左遷した。

〔設問 7〕

下線部（キ）に関して、室町幕府 4 代将軍の命で、現在国宝に指定されている有名な禅機画を描いた画僧は、日本の水墨画を開拓した先駆者の 1 人である。この画僧が所属していた寺院を語群のなかより選び、その番号を解答欄

(23)	(24)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 8〕

下線部（ク）に関して、日本銀行を設立した元老の三男で、ロダンや印象派の作品を蒐集し、そのコレクションが第二次世界大戦後、国立西洋美術館の主体になったことでも知られる人物を語群のなかより選び、その番号を解答欄

(25)	(26)
------	------

 にマークしなさい。

[語群]

- |               |            |             |           |
|---------------|------------|-------------|-----------|
| 01. アーネスト＝サトウ | 02. 岩倉具視   | 03. 叡尊      | 04. 江戸八景  |
| 05. 江戸名所図会    | 06. 円珍     | 07. 大村益次郎   | 08. 大山柏   |
| 09. オールコック    | 10. 海産物    | 11. 覚猷      | 12. 勝海舟   |
| 13. 桂広太郎      | 14. 狩野     | 15. クラーク    | 16. 黒田清輝  |
| 17. 高弁        | 18. コンドル   | 19. 西園寺不二男  | 20. 雑穀    |
| 21. 蚕卵紙       | 22. 慈円     | 23. 四条      | 24. 渋沢栄一  |
| 25. 相国寺       | 26. 諸国名橋奇覧 | 27. 住吉      | 28. 醍醐寺   |
| 29. 大徳寺       | 30. 茶      | 31. 東海道五十三次 | 32. 土佐    |
| 33. 菜種油       | 34. 忍性     | 35. 仁和寺     | 36. パークス  |
| 37. ハリス       | 38. ヒュースケン | 39. フェノロサ   | 40. 福澤諭吉  |
| 41. 福地源一郎     | 42. ベルツ    | 43. ボアソナード  | 44. 松方幸次郎 |
| 45. 円山        | 46. 妙心寺    | 47. 名所江戸百景  | 48. 綿糸    |
| 49. モース       | 50. 山県伊三郎  | 51. 龍安寺     | 52. 琳     |
| 53. 六十余州名所図会  | 54. ロッシュ   |             |           |

## 問題 II

次の本文を読み、空欄 (27) (28) から (37) (38) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (キ) に関連した設問 1 から 7 について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の (39) (40) から (51) (52) にマークしなさい。

サトシ・ナカモトの名でビットコインの論文が公表された同年、米国投資銀行が経営破綻した。この経営破綻を契機に世界的に株価が暴落した (27) (28) の最中、ビットコインシステムが稼働を開始した。暗号資産の登場は、通貨・金融の意義や国家の役割について再考する契機となる。近世までの日本の貨幣・金融に関連する事象を振り返ってみよう。

日本における貨幣鑄造の始まりとして、飛鳥池遺跡から出土した富本銭、<sup>(ア)</sup>平城京遷都前の時期における和同開珎の鑄造が確認されている。いずれの鑄造時期も都の造営が計画されていた時期であり、背景に財源調達必要性があったと指摘されている。それ以後、(29) (30) 天皇の時代に発行された乾元大宝に至るまで皇朝十二銭が鑄造されたが、貨幣の流通は京・畿内やその周辺地域に限られていた。皇朝十二銭発行以降、日本国内では政権による貨幣鑄造は行われない時代が続く。もっとも、<sup>(イ)</sup>日宋貿易により宋銭が輸入され、通貨として流通し、政権の重要な財源となっていく。鎌倉幕府滅亡後の時期に、大覚寺統の (31) (32) 天皇が、貨幣鑄造・紙幣発行を計画した。これによって、財源調達を図り、商業の発展を促進しようとしたものの、実現に至らず、室町時代には、明銭が大量に輸入される状況となる。

一方で、モノを貸して利息をとる金融は、種籾が貸し出され、利稲をつけて蔵に戻されるという (33) (34) に遡ると言われている。当初、農民の生活維持を目的として行われていたが、律令国家において、公的なものと私的なものとに分かれ、前者は租税化していった。鎌倉時代になると、裕福な酒屋は金融業である土倉も兼ね、いわゆる高利貸が行われるようになる。また、相互扶助の意味合いをもつ庶民金融として (35) (36) も行われた。室町時代には、酒屋・土倉に対する営業税である酒屋役・土倉役が幕府の重要な財源となるほど、金融業は発展をとげる。鎌倉・室町時代は、こうした貨幣経済の発展および当時の政治状況を背景に、しばしば<sup>(ウ)</sup>一揆が起こり、これを受けて、徳政令が実施されていった。<sup>(エ)</sup>債務破棄や質の返還などが「仁徳のある政治」として求められた背景には、ある契機によってすべてを一新（復活）させることが正しいという当時の社会観念の作用を指摘できる。

戦国時代、戦国大名は経済力を充実させるため、座を廃止するなどし、商品流通が円滑化した。各地で金山・銀山の採掘が進み、豊臣秀吉により天正大判が鑄造された。政権による国内鑄造貨幣は、皇朝十二銭以来初であった。江戸時代には貨幣が現実の取引で機能するようになり、通貨制度が確立していく。徳川家康の下で発行された慶長金銀は全国に通用する貨幣として、天下統一を象徴するものとも評し得る。江戸幕府は、金座・銀座・銭座を設け、<sup>(オ)</sup>幕府の管理下で金・銀・銭の三貨が鑄造・発行され、両替商の登場によって貨幣の流通が促進された。

江戸幕府はしばしば貨幣改鑄を行った。最初の元禄改鑄は、(37) (38) の意見を容れて、慶長金銀の質を落とし、差益で財政を埋めようとしたものであるが、物価高騰により人々の生活を圧迫する結果となった。財政難に直面していた幕府は、その解決を1つの重要な動機として、諸施策を試みていく。將軍吉宗による幕政改革では、金銭貸借をめぐる紛争について当事者間で解決させる相対済し令が出され、また、上げ米などの諸施策により財政再建が目指された。その後、<sup>(カ)</sup>將軍家治の時代、民間における経済活動の活発化を狙う策など諸施策が試みられた。しかし、天明の大飢饉が始まり、家治の死後、多くの施策は中止となった。全国で打ちこわしが行われるなか、將軍家斉の時代の幕政改革では、人々の窮乏救済策が打ち出され、幕政の引き締めが試みられたものの、厳しい儉約への反発も強かった。天保の大飢饉、大塩の乱など不穏な状態に動揺する幕藩体制の再建のため、將軍家慶の時代にも幕政改革が断行されるが、厳しい統制や不景気への不満が募り、改革は2年余で頓挫する。幕府の力は衰退し、<sup>(キ)</sup>幕末を迎えることになる。

〔設問 1〕

下線部（ア）から長岡京遷都までの間における政権下の財政・経済活動に関わる事項として、下記（a）から（e）の各記述のうち、適切でないものの組み合わせを [01] から [09] のなかより選び、その番号を解答欄 

(39)	(40)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 陸奥で金，周防・長門で銅など鉱物資源の採掘が政権主導で行われた。
- （b） 錢貨流通の促進を目的として，蓄錢量に応じて位階を授けることを定めた蓄錢叙位令が出された。従六位以下は 10貫，初位以下は 5 貫の錢を蓄え，政府へ納入した場合に位を 1 階進めるという内容であった。
- （c） 三善清行が意見封事十二箇条を上奏した。そこには，財政の窮乏状況や地方政治の実態が記されていた。
- （d） 民衆は戸主を代表とする戸籍に登録され，戸を単位に口分田が配給され，租の負担を課せられていたが，違法な土地所有が増えたため，荘園整理令が出された。
- （e） 税の増収を狙った百万町歩の開墾計画が立てられ，三世一身法が施行された。これにより，新たに灌漑施設を設けて開田した者は 3 世までその田を保有することが認められた。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |

〔設問 2〕

下線部（イ）に関して，宋との貿易は平安期・鎌倉期に行われたが，下記（a）から（e）の各記述のうち，この時期の日本と大陸に関する記述として適切でないものの組み合わせを，[01] から [09] のなかより選び，その番号を解答欄 

(41)	(42)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 平氏では，清盛が日宋貿易に着目し，清盛以後，積極的に貿易が推進された。これを受け，重盛が，音戸の瀬戸の開削を行い，摂津大輪田泊を修築した。
- （b） 日宋貿易において，日本からは金・刀剣・漆器などが輸出され，宋からは宋銭のほか，書籍，香料などが輸入された。
- （c） 鎌倉時代，日本は南宋と正式な国交を結ばなかったが，貿易のほか，僧侶の往来があり，蘭溪道隆は，北条時頼に招かれ，建長寺を開いた。
- （d） フビライ＝ハンが南宋と戦端を開いたあと，南宋の精鋭部隊三別抄が抗戦を続け，日本に援軍と兵糧を求めたが，日本は応じなかった。
- （e） 貿易商人として日本と大陸を往来していた陳和卿は，東大寺大仏の再建に助力した。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関する下記（a）から（e）の各記述のうち、適切なものの組み合わせを、[01] から [09] のなかより選び、その番号を解答欄 

(43)	(44)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 山城の国一揆は、畠山政長・義就両軍の退陣という要求を掲げていた。
- （b） 嘉吉の徳政一揆は、將軍義教の代始めに、近江坂本の馬借たちが徳政を求め蜂起したものである。
- （c） 柳生の徳政碑文は、嘉吉の徳政一揆の成果を記したものとされている。
- （d） 正長の徳政一揆では、京都の土倉・酒屋などが襲われ、幕府は要求を入れて徳政令を発布した。
- （e） 播磨の土一揆は、守護赤松満祐の配下軍兵の国外退去という要求を掲げていた。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |

〔設問 4〕

下線部（エ）に関して、日本における債務者救済施策について下記（a）から（e）の各記述のうち、適切でないものの組み合わせを [01] から [09] のなかより選び、その番号を解答欄 

(45)	(46)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 永仁の徳政令は、困窮する御家人救済のため、北条長時が発したものであり、所領の売買や質入れの禁止などを定めたものであった。
- （b） 1789年に出された棄捐令は、旗本・御家人救済のため、札差に1784年以前の貸金を放棄させ、その後のものは低利年賦による返済とするものであった。
- （c） 1454年に出された分一徳政令において、債務者には、分一銭を幕府に納入することを条件に、債務の破棄が認められた。
- （d） 関東大震災後の1927年に、山本権兵衛内閣は、債務の一時支払停止を認める支払猶予令（モラトリアム）を発した。
- （e） 1722年に出された質流し禁令は、田畑の質流れ禁止と請け返し事項を定めたものであったが、質地騒動が起き、撤回された。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |



〔設問 5〕

下線部（オ）に関して、下記（a）から（e）の各記述のうち、適切でないものの組み合わせを [01] から [09] のなかより選び、その番号を解答欄 

(47)	(48)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 重さを測って価値を決めて使用される秤量貨幣の代表は、銀貨であった。
- （b） 永楽通宝は、一文銭であり、この鑄造・発行によって悪貨が整理された。
- （c） 関東では主に金貨、関西では主に銀貨で商売が行われた。為替・貸付の業務なども行う本兩替が金銀交換を行い、江戸の金遣い、大坂の銀遣いと呼ばれた。
- （d） 幕府が三貨の換算率を公定したものの、実際の強制力はなく、貨幣の純度や需給関係などによって相場が変動した。
- （e） 徳川家康は、金座を設置し、淀屋辰五郎に管轄させ小判を鑄造させた。以後、淀屋の世襲となる。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |

〔設問 6〕

下線部（カ）の時代に行われた施策として、下記（a）から（e）のうち、適切でないものの組み合わせを [01] から [09] のなかより選び、その番号を 

(49)	(50)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 南鐐二朱銀など定量の計数銀貨が鑄造された。
- （b） 物価高騰の原因は商品流通の独占にあると判断され、株仲間の解散が命じられた。
- （c） 印旛沼・手賀沼の大規模な干拓工事が始められるなど、新田開発が積極的に試みられた。
- （d） ロシアとの交易や蝦夷地開発の可能性を調査するため、蝦夷地に調査団が派遣された。
- （e） 豪商10名からなる勘定所御用達が置かれ、米価調整等が図られた。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] （a）と（b） | [02] （a）と（c） | [03] （a）と（d） |
| [04] （a）と（e） | [05] （b）と（c） | [06] （b）と（d） |
| [07] （b）と（e） | [08] （c）と（d） | [09] （c）と（e） |

[設問7]

下線部（キ）の時期における通商や日本の経済情勢の説明として、下記（a）から（e）の各記述のなかより、適切でないものの組み合わせを [01] から [09] のなかより選び、その番号を解答欄 

(51)	(52)
------	------

 にマークしなさい。

- (a) 日露和親条約では、箱館・浦賀・長崎の3港の開港が定められ、国境については、択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とすることなどが定められた。
- (b) アメリカは日本の開国を実現させたが、南北戦争のため、日本の貿易相手国としては、イギリスが主流を占めた。
- (c) 物価上昇により困窮した農民は、負担の軽減を求め、地租改正反対の一揆を起こした。
- (d) 輸向け商品が在郷商人によって開港地へと持ち込まれるようになり、幕府は貿易統制のため問屋を経て輸出するよう五品江戸廻送令を出したが、効果はあがらなかった。
- (e) 金貨の海外流出を防ぐため万延貨幣改鑄が行われた。その結果、貨幣の実質価値が低下し、物価上昇となって、民衆の生活を圧迫した。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| [01] (a)と(b) | [02] (a)と(c) | [03] (a)と(d) |
| [04] (a)と(e) | [05] (b)と(c) | [06] (b)と(d) |
| [07] (b)と(e) | [08] (c)と(d) | [09] (c)と(e) |

[語群]

- |             |          |          |               |            |
|-------------|----------|----------|---------------|------------|
| 01. 新井白石    | 02. 荻生徂徠 | 03. 荻原重秀 | 04. 借上        | 05. ギリシア危機 |
| 06. 金融ビックバン | 07. 光孝   | 08. 光厳   | 09. 庚申講       | 10. 光明     |
| 11. 後白河     | 12. 後醍醐  | 13. 後深草  | 14. 歳役        | 15. 七分積金   |
| 16. 出挙      | 17. 朱雀   | 18. 石油危機 | 19. 醍醐        | 20. 賃租     |
| 21. 富突      | 22. ドル危機 | 23. 贅    | 24. 幣帛        | 25. 保科正之   |
| 26. 無尽      | 27. 村上   | 28. 柳沢吉保 | 29. リーマン＝ショック | 30. 冷泉     |

### 問題Ⅲ

次の本文を読み、空欄 (53) (54) から (57) (58) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部(ア)から(ケ)に関連した設問1から9について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の (59) (60) から (75) (76) にマークしなさい。

現代の図書館は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」(図書館法第2条第1項)とされ、わたしたちの生活文化を支える基盤となっている。その歴史の一端を紐解いてみよう。

書籍や文書を国家が管理する仕組みは、律令体制の下ではじめて、組織的な位置づけが明確にされた。<sup>(ア)</sup> 図書寮が中務省の下級機関として置かれ、図書を所蔵・管理するほか、写本の作成、墨・筆・紙の製作にもあたったという。その一方で、有力貴族のなかには蒐集した図書を公開し、貴族や僧侶らに閲覧させる者もあった。その者の長逝を伝える『続日本紀』天応元年6月24日条には、「その旧宅を捨てて阿闍寺とす。寺の内の一隅に、特に外典の院を置き、名けて (53) (54) と曰ふ。如し好学の徒有りて就きて聞せむと欲ふ者には恣に聴せり。」とある。

平安京に都が遷り、律令体制の衰退にともなって図書寮が機能不全に陥ると、上流階級の個人所蔵がそれを代替するようになった。たとえば、『玉葉』には、「<sup>(イ)</sup> 内より玄宗皇帝の絵六巻を賜はり預る。一見せしめんためなり。」(治承3年9月4日条)、「今旦玄宗皇帝の絵を返上す(……)。」(治承3年9月6日条)とあり、また、「未の刻、<sup>(ウ)</sup> 大外記頼業来たり、帝王略論一部五巻を持ち来たる。借り召すに依りてなり。」(治承4年8月4日条)、「申の刻大外記頼業来たる。(……)先日借り進らす所の帝王略論五巻返し給ひ了んぬ。」(治承4年11月29日条)とある。ここには蔵書の貸し借りがされていた様子を垣間見ることができよう。

<sup>(エ)</sup> 鎌倉の地に本格的な武家政権が開かれた時代も、初期のころは、京都から下向した貴族らが図書の蒐集・保存の担い手であった。たとえば、問注所の初代執事は、私邸に名越文庫を設けたという。その後、武士のなかにも多数の図書を所蔵する者があらわれるようになった。武家の手による図書館として著名なものは、金沢文庫であろう。室町中期に (55) (56) の禅僧を庠主に迎えて再興したとされる足利学校は豊富な蔵書を誇る文庫を備え、それもまた中世を代表する図書館であった。

長く続いた戦乱の世が終わり、江戸に幕府が開かれると、江戸城内には初代将軍の私蔵図書を収める富士見亭文庫が置かれた。3代将軍は、書物奉行を任じてその管理にあたらせ、文庫を城内の紅葉山に移転させた。また、<sup>(オ)</sup> 多くの藩が藩校を開き、藩校には、教育・研究の用に供する文庫が付設された。この時代は、<sup>(カ)</sup> 寺子屋などの初等教育機関が整備されるにともなって識字率が向上し、印刷技術の確立によって書籍の流通量が増え、庶民が図書に触れる機会が増えた時代でもあった。

王政復古の大号令を発し、明治新政府は、旧来の諸制度を汚習と呼んで改め、西欧風の近代国家を目指した。それまでの文庫も例外ではなかった。政府は、湯島聖堂内に書籍館を開設した。また、公立・私立の書籍館が全国各地に開かれた。<sup>(キ)</sup> 教育令が公布・施行され、書籍館は文部卿の監督下に置かれた。

その一方で、急激な社会の変化にさらされた民衆は、新聞から情報を得ようとした。購読料が高額で庶民が気軽に読めるものではなかったため、新聞縦覧所が都市部を中心に広まったという。しかし、民撰議院設立の建白書が『日新真事誌』に掲載され、新聞各紙に支持されたことに対して、<sup>(ク)</sup> 政府による取り締まりが強化された結果、新聞縦覧所は次第に衰退していった。

日露戦争に勝利し、列強に並ぶ地位を得たものの、多額の戦費を要したために国家財政は危機的状況に陥った。国家

から人心が離れ、個人の意思や生活を重視する風潮が広まることに危機感を抱いた政府は、国家主義的な国民道徳を説くとともに、

(57)	(58)
------	------

運動を推進した。その一環として、社会教育を重視する観点から、全国各地には小規模な図書館が次々に設置された。明治から大正に時代が移っても、民衆の間には自由主義的な風潮がみなぎっていた。政府は、社会教育に一層の力を入れるため、臨時教育会議を内閣直属の諮問機関として発足させた。臨時教育会議が図書館の<sup>(ケ)</sup>拡充を答申すると、公共図書館の数は急速に増加した。

戦時下の昭和前期は、図書館にとって受難の時代であった。第二次世界大戦後、GHQによる占領政策の重要な要素として、公共図書館の振興を図ることが取り上げられた。日本の民主化のためには、賢明な主権者を養成することが必要不可欠だったのである。公共図書館は、閉架制かつ有料だった戦前の不自由さから脱却し、開架制の、無料で自由に利用できる施設へと生まれ変わった。

〔設問 1〕

下線部（ア）に関して、律令制の統治機構について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄 

(59)	(60)
------	------

 にマークしなさい。

〔01〕 中務省は、天皇への近侍や詔勅の起草などを所掌とした。その下級機関の1つに、天文の観測や暦の作成などをつかさどる陰陽寮が属した。

〔02〕 式部省は、文官の人事や論功、儀礼・儀式のことなどを所掌とした。その下級機関の1つに、官吏養成に関する教育などをつかさどる大学寮が属した。

〔03〕 治部省は、氏族の身分や官人の継嗣・婚姻のほか、祥瑞、喪葬、僧尼のことなどを所掌とした。その下級機関の1つに、宮廷の音楽・舞踊などをつかさどる雅楽寮が属した。

〔04〕 大蔵省は、戸籍・計帳や田図・田籍の管理のほか、鑄銭、度量衡のことなどを所掌とした。その下級機関の1つに、調・庸その他の貢納分の計算、予算の編成などをつかさどる主計寮が属した。

〔05〕 宮内省は、宮中の事務などを所掌とした。その下級機関の1つに、薬剤、治療、薬園などをつかさどる典薬寮が属した。

〔設問 2〕

下線部（イ）に見えるように、『玉葉』の著者は、「玄宗皇帝の絵六卷」（白居易『長恨歌』をモチーフに制作された絵巻のこと）を誰かから借り受けている。貸した人物を語群より選び、その番号を解答欄 

(61)	(62)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 3〕

下線部（ウ）の大外記とは、詔書の作成などにあたった外記のうち上位の者を指し、下位の者は少外記と呼ばれ、令制に規定された官司であった。同様に令制に規定された官司であるものを語群より選び、その番号を解答欄 

(63)	(64)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 4〕

下線部（エ）に関して、鎌倉末期に成立したとみられる『沙汰未練書』は、鎌倉幕府における裁判の手続きや文書例のほか、幕府諸制度に関する用語解説を載せたものである。以下の記述のうち、『沙汰未練書』に書かれた用語解説として適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (65) (66) にマークしなさい。なお、問題作成用に適宜、読み下してある。

- [01] 地頭トハ、右大将家以来、代々將軍家に奉公し、御恩を蒙る人の事なり。
- [02] 御家人トハ、往昔以来、開発領主として、武家の御下文を賜はる人の事なり。
- [03] 非御家人トハ、其の身は侍たりと雖も、当役勤仕の地を知行せざる人の事なり。
- [04] 新恩トハ、承久兵乱の時、没収の地を以て、所領等を充給はる事なり。
- [05] 六波羅トハ、洛中の警固並びに西国の成敗の御事なり。

〔設問 5〕

下線部（オ）のとおり、多くの藩が教育に力を入れるようになり、藩校で学んだ者のなかから、後に明治新政府の要職に就く者があらわれた。藩校と創立者、その藩校で学び、後に政官界で活躍した人物について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (67) (68) にマークしなさい。

- [01] いわゆる学校令を制定し、学校体系を整備した森有礼は、薩摩藩主島津重豪が創立した造士館に学んだ。
- [02] 大日本帝国憲法の起草にあたった伊東巳代治は、福岡藩主黒田斉隆が創立した修猷館に学んだ。
- [03] 学制の頒布に尽力した大木喬任は、佐賀藩主鍋島治茂が創立した弘道館に学んだ。
- [04] 欧化政策をとって条約改正に臨んだ井上馨は、長州藩主毛利吉元が創立した明倫館に学んだ。
- [05] 教育勅語の起草にかかわった井上毅は、熊本藩主細川重賢が創立した時習館に学んだ。

〔設問 6〕

下線部（カ）の寺子屋について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (69) (70) にマークしなさい。

- [01] 寺子屋の経営には、町人や僧侶、武士、医者などがあたった。
- [02] 寺子屋は江戸、大坂などの都市部だけでなく、全国の農山漁村にまで広くつくられた。
- [03] 寺子屋には男子だけでなく女子も通ったが、男女共学の寺子屋は見られなかった。
- [04] 女性が寺子屋の師匠になる例も見られた。
- [05] 南北朝期から室町初期のころにつくられたとされる『庭訓往来』は、寺子屋の教育にも広く用いられた。

〔設問 7〕

下線部（キ）に関して、明治期の初等教育法制について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(71)	(72)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 明治5年に制定された学制は、学区ごとに小学校を置くことを定め、その費用を原則として国費から支出することとし、地元住民に負担を求めることはしなかった。
- [02] 明治12年に制定された教育令は、6歳より14歳に至る8年を学齢とし、その間の少なくとも16か月を児童が普通教育を受けなければならない期間とした。
- [03] 教育令は明治13年に改正され、私立小学校の設置については、府知事・県令の認可が必要とされた。
- [04] 小学校の教育に用いられる教科書について、明治19年に制定された小学校令は、検定制度をはじめて採用した。
- [05] 明治23年に制定された小学校令は、尋常小学校の修業年限を3年または4年としたが、明治33年の改正により、4年に統一された。

〔設問 8〕

下線部（ク）のとおり、新聞に対する統制を強めた法令の1つに、新聞紙条例があった。明治8年に制定された当時の新聞紙条例の内容について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(73)	(74)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 新聞を発行しようとする者は、内務省の許可を得なければならなかった。
- [02] 日本人でない者が新聞の編集人になるときは、国内に居住することが条件とされた。
- [03] 記事には、原則として、その筆者の姓名と住所を明記することが求められた。
- [04] 政府変壊、国家転覆を論じる記事を載せ、騒乱を扇動しようとした者を処罰の対象とした。
- [05] 上書・建白書を掲載するときは、官庁の許可を得なければならなかった。

〔設問 9〕

下線部（ケ）に関して、臨時教育会議の答申は多岐にわたったが、その特筆すべき成果の1つとして、大学令を制定し、高等教育を拡張したことが挙げられる。大正7年に制定された当時の大学令の内容について説明する以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(75)	(76)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 大学の目的は、国家に<sup>しりよう</sup>必要な学術の理論および応用を教授し、<sup>うんのう</sup>蘊奥を攻究することにあるものとされた。
- [02] 大学は、法学、医学、工学、文学、理学、農学、経済学および商学のなかから、かならず複数の学部を置くこととなった。
- [03] 公立大学は、特別の必要がある場合には、北海道および府県に限って設立することが認められた。
- [04] 公立大学または私立大学を設立し、または廃止するときは、文部大臣の認可を受けなければならなかった。
- [05] 大学は、特別の必要がある場合には、修業年限を3年または2年とする予科を置くことができた。

[語群]

- |           |          |          |             |          |
|-----------|----------|----------|-------------|----------|
| 01. 愛国    | 02. 按察使  | 03. 芸亭   | 04. 衛門府     | 05. 円覚寺  |
| 06. 大江広元  | 07. 学館院  | 08. 勘解由使 | 09. 紙屋院     | 10. 経蔵   |
| 11. 啓蒙主義  | 12. 建長寺  | 13. 弘文院  | 14. 国民精神総動員 | 15. 国家改造 |
| 16. 後鳥羽天皇 | 17. 近衛府  | 18. 参議   | 19. 寿福寺     | 20. 書院   |
| 21. 奨学院   | 22. 浄智寺  | 23. 称名寺  | 24. 浄妙寺     | 25. 書屋   |
| 26. 新体制   | 27. 施薬院使 | 28. 大同団結 | 29. 高倉天皇    | 30. 地方改良 |
| 31. 中納言   | 32. 鎮守府  | 33. 内大臣  | 34. 南禅寺     | 35. 二条天皇 |
| 36. 藤原忠通  | 37. 藤原道家 | 38. 藤原通憲 | 39. 文殿      | 40. 源頼朝  |

#### 問 題 IV

以下の史料1から8は、いずれも同一人物がしたための書簡AからHの一部を抜き出したものである。史料の並びは書かれた順番に従っていない。宛先はみな違う。それぞれの書簡は、したためられた時期の差し迫った事柄にふれている。なお、引用した書簡の原文は、適宜改めてある。

設問1～4, 7, 11に関しては、それぞれの指示に従って番号を選び、所定の解答欄にマークしなさい。設問5, 6, 8～10, 12に関しては、空欄に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を所定の解答欄にマークしなさい。

##### [史料1] —— 書簡Aからの抜粋

首相閣下病軀国政の重責を担ふ、労苦御察し申すと雖、昨今内外の政情誠ニ寒心ニ堪えず、(……)、殊ニ蘇が最も重点を置く、国交再開、大使交換ニ何等の用意なくして応ずとせば、無条件ニ国家国民を赤禍ニ開放暴露するものにして、対等互譲の交渉ニ非らず、無条件降伏ニ外ならず、(……)

##### [設問1]

史料1にある「首相閣下」が所属した政党・組織の変遷の大筋として、適切なものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(77)	(78)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 立憲民政党 → 翼賛政治会 → 日本自由党 → 日本民主党 → 自由民主党
- [02] 立憲政友会 → 翼賛政治会 → 日本自由党 → 日本民主党 → 自由民主党
- [03] 政友本党 → 立憲民政党 → 翼賛政治会 → 日本自由党 → 日本民主党 → 自由民主党
- [04] 立憲民政党 → 翼賛政治会 → 日本民主党 → 日本自由党 → 自由民主党
- [05] 立憲政友会 → 翼賛政治会 → 日本進歩党 → 日本民主党 → 自由民主党

##### [史料2] —— 書簡Bからの抜粋

此際の低姿勢ハ国民をして内閣弱体なるが故と思はしめ却而人氣ニ障ハリ内閣之将来ニ影響せしむべく、寧ろ飽迄も政策本位、国家本位ニて勇壯邁進相成度、(……)、右顧左眄は事を為す所以ニ非らずと奉存候、(……)

##### [設問2]

史料2にある「内閣」の国民への「低姿勢」を示す以下の記述のうち、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(79)	(80)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 「寛容と忍耐」をスローガンとした。
- [02] 首相自らがテレビCMに出演し、「私はウソは申しません」が流行語になった。
- [03] 公害問題に対応し、国民の健康と安全を守るため、環境庁を創設した。
- [04] 国民生活の向上を重視し、国民ひとり当たりの所得を10年以内に倍增させる政策を掲げた。
- [05] 大都市圏と地方の経済格差を是正すべく、新産業都市建設促進法を制定した。



〔設問 3〕

史料 2 にある「内閣」の時代の出来事を示す記述として、適切なものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(81)	(82)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 国内旅客輸送分担率で乗用車が国鉄を上回った。
- [02] 日本が部分的核実験禁（停）止条約に調印した。
- [03] 日中覚書貿易が開始された。
- [04] 沖縄の日本復帰が実現した。
- [05] 工業生産が戦前の水準（1934～36年の平均水準）の 2 倍に達した。

〔史料 3〕—— 書簡 C からの抜粋

全学連、総評、社会党等、騒動ニ関係指嗾せる一味を一勢ニ収監取調ニ着手せらるべきニ非ざる乎、(……)、他面アイク大統領来朝之際の警戒ニハ万全を期せられ、(……)、又警戒部隊ハ唯ニ警察隊のみならず自衛隊、消防を動員し、デモを為す気配のもの一切、要所要所ニ阻止して通路ニ近けぬまでニ御手配希望仕り候、(……)

〔設問 4〕

史料 3 の書簡の宛先は当時の首相である。その首相の経歴として、適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(83)	(84)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 商工省の官僚
- [02] A 級戦犯被疑者とされるものの不起訴
- [03] 昭和電工事件（昭電疑獄）に連座
- [04] 東條英機内閣の閣僚
- [05] 公職追放の対象者

〔設問 5〕

史料 3 の書簡がしたためられた時点での日本社会党の中央執行委員長で、同年のうちに暗殺された人物は

(85)	(86)
------	------

 である。

〔史料 4〕—— 書簡 D からの抜粋

歐洲西部戦線ニ於テモ昨今独軍ノ反撃奏効米英軍ハ意外ノ難関ニ遭遇シツツアリ (……)、対支提案ヲ考按スルニ (一) 日支事変発生以前ノ事態ニ復歸ス、(二) 我新支那政策ノラインニテ日支干係ヲ調整ス、但シ南京政府ノ存続ヲ固執セズ (……)

〔設問 6〕

史料 4 にある「南京政府」の初代首班は 

(87)	(88)
------	------

 である。

[史料5] —— 書簡Eからの抜粋

政界の現状を見るに政権争奪に堕し、政党政治、民主政治に対する国民の信頼を傷つけつつあり、(……)、また小生の進退が政権に恋々たるが如き疑いを内外に抱かしむるにおいてはわが民主政治の基礎たる自由党のため甚だ面白からず、(……)

[設問7]

史料5の書簡のしたためられた年に、当時首相であった「小生の進退」は極まり、同年、ついに辞任に至った。この年の出来事として適切でないものはどれか。[01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (89) (90) にマークしなさい。

- [01] 公安調査庁が設立された。
- [02] 防衛庁が設立された。
- [03] 自治体警察が廃止された。
- [04] 公立学校教員の政治活動が禁止された。
- [05] 映画『ゴジラ』が封切られた。

[史料6] —— 書簡Fからの抜粋

中旬より中国筋九州及四国を巡回仕一昨日帰磯、各地、自由党への気分宜敷、(……)、一月早々保守新党結集の準備ニ取懸り〔国会〕休会明位ニ旗上出来可申歟、幣原〔喜重郎〕派以外之民主党、社会党右派、其他の小会派をも抱擁之見込ニ有之、(……)

[設問8]

史料6にある「保守新党」の名は (91) (92) である。

[史料7] —— 書簡Gからの抜粋

先年 <sup>サンフランシスコ</sup> 桑 港 講和記念ニ御書き被下候額、恰かも皇太子殿下御成年ニ相当り献上之手続仕候事ハ当時申上候と存候、近々殿下御成婚と拝聞仕、先年の分とツイに相成候様、老先生ニ改めて御書きを願ひ献上致してハ存候、(……)

[設問9]

史料7にある「老先生」とは、日本美術院再興のときの中心人物の1人で、『風神雷神』や『日食』を代表作とする

(93) (94) である。

〔史料 8〕—— 書簡 H からの抜粋

外務省内外ニハ不安の空気ニ充ち、外交機能停止之状との事ニ有之、日独軍事協定の内容ハ不存候得共、独の勝利を予想しての事なれば、其特使特派の事実こそ彼自身勝敗ニ確信動揺之証左と不可見歟、既ニ其対英上陸も今年中ハ覚束なきが如く、来年ニ持越し長期戦となれば独の不利申迄も無之、(……)

〔設問10〕

史料 8 は当時の首相に宛てた書簡である。その内閣の外務大臣は (95) (96) である。

〔設問11〕

書簡 A から H を書かれた順に古い方から新しい方へ並べた場合、5 番目に当たるものはどれか。その番号を解答欄

(97) (98) にマークしなさい。

- [01] 書簡 A
- [02] 書簡 B
- [03] 書簡 C
- [04] 書簡 D
- [05] 書簡 E
- [06] 書簡 F
- [07] 書簡 G
- [08] 書簡 H

〔設問12〕

書簡の差出人は (99) (100) である。

〔語群〕

- |            |           |           |           |          |
|------------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 01. 愛新覚羅溥儀 | 02. 浅沼稻次郎 | 03. 芦田均   | 04. 池田勇人  | 05. 石橋湛山 |
| 06. 市川房枝   | 07. 王克敏   | 08. 汪兆銘   | 09. 大平正芳  | 10. 片山哲  |
| 11. 鏑木清方   | 12. 岸信介   | 13. 国民協同党 | 14. 近衛文麿  | 15. 小林古徑 |
| 16. 佐藤栄作   | 17. 重光葵   | 18. 幣原喜重郎 | 19. 自由民主党 | 20. 蔣介石  |
| 21. 鈴木茂三郎  | 22. 孫文    | 23. 張学良   | 24. 東郷茂徳  | 25. 徳田球一 |
| 26. 日本自由党  | 27. 日本進歩党 | 28. 日本民主党 | 29. 鳩山一郎  | 30. 速水御舟 |
| 31. 東山魁夷   | 32. 広田弘毅  | 33. 前田青邨  | 34. 牧野伸顕  | 35. 松岡洋右 |
| 36. 宮本顕治   | 37. 民主自由党 | 38. 毛沢東   | 39. 安田靫彦  | 40. 横山大観 |
| 41. 吉田茂    | 42. 立憲改進黨 |           |           |          |